

左近山中だより

平成 29 年 9 月 26 日
横浜市立左近山中学校
校長 福田 有志
No. 6

秋の夜長

副校長 内山 裕二



暑かった夏の日々も、朝夕はとてもしずしやす時期になってきました。さらに、秋分の日も過ぎ、一日一日と暗くなる時間が早まっています。「秋の日はつるべ落とし」とは、よく言ったものです。さて、実際はどうでしょうか。横浜の日の入り時刻を調べてみると、7月15日～8月15日の間では、26分早くなっているのに対し、8月15日～10月15日の間では、1か月ごとに42分ずつ早くなっていることがわかります。夏の日々の入り時刻の変化と比較して秋はそのペースが一気に早まることから、より一層夕暮れまでの時間を早く感じるようになるのかもしれませんがね。

7月	18:57
8月	18:31
9月	17:49
10月	17:07

(毎月15日の日の入り時刻)

さて、日没が早くなるにつれて、生徒の下校時刻も早まっています。遅くまで部活動があった夏とは違い、秋から冬に早々と家に帰って何をしますか？3年生にとっては、自分が決めた進路を実現させるために一生懸命学習に取り組む時間になるでしょう。1・2年生も家庭学習の時間として使っていただければよいのですが、そうでなければ静かに落ち着いて読書



に使ってみるのもよいでしょう。意外と学習をするより自分にとってはるかに得るものがあるかもしれません。現代はネット社会で、知らないこともすぐ調べることができ、知識を吸収することができますが、活字を読むとそれを頭の中で想像していきます。この活字で書いてあることを想像していくことが大切であると言われます。その力は、学習面にプラスの効果をもたら

すばかりでなく、色々な物事を色々な方向から見ることができたり、これからの自分の生き方にも影響を与えたりするものになるでしょう。先週の朝の時間には、司書教諭の稲葉教諭によるブックトーク（複数の本を1つのテーマに沿って紹介するもので、今回のテーマは、スポーツでした）が行われたくさんの本の紹介がありました。感想を聞くと、スポーツに関する本を読みたいと思った人も多くいたようです。逆に「いろいろ迷ってしまった人」「どんな本、何の本を読んでいいのかわからない」という人は、学校図書館に行ってみましょう。学校司書の吉武さんがいろいろな本の紹介をして下さっています。新しい本もたくさんあり、皆さんが興味をもって読書ができるようにたくさんの工夫があります。また、ぜひその中から1冊借りる、あるいは、本屋さんで自分の好きな本を買ってくる。どちらでも良いので、秋の夜長を本と共に過ごしてみたいかですか？



図書室からの
お知らせ

文化祭の準備 始まりました

10月27日（金）に文化祭が予定されています。前期期末試験が終わってから、各クラスで総合の時間を中心に文化祭の準備が始まりました。今まで試験に向けて学習に集中していた姿が、今度は文化祭に向けて一生懸命取り組む姿に変わってきました。どんな発表にするか話し合うクラスあり、クラス全員で台本の読み合わせをするクラスあり、発表の内容をしっかりと学習するクラスあり、すでに撮影に入っているクラスありと、それぞれのクラスが、どんな発表になるかはまだわかりませんが、クラスの特色を生かし、各クラスが創意工夫しながら素晴らしい発表にしようとしています。発表はまだ1か月先。時間はあるので学級のみんなが力を合わせて、最高のものをつくりあげて欲しいですね。



旭区個別支援学級合同行事

大池公園カレー作り



9月5日（火）に大池公園にて旭区個別支援学級合同行事が行われました。大池公園に到着すると他校の生徒や先生と混合で班になり活動しました。カレー係・かまど係・ごはん係・食器係に分かれ、調理が始まると、それぞれの係が自分の仕事に責任を持ち、スープカレーにならないためには…、火をスムーズにつけるためには…、おいしいご飯を炊くためには…などなど仲間や先生と話し合いながら調理を進めていました。どの班もおいしいカレーができたようです。

（個別支援級 高橋知希）



PTA 主催 高校学習会

毎年たくさんの保護者の皆様にご来校いただき、ご好評いただいている高校学習会を、9月12日に開催いたしました。夏休み前の7月に実施日と来校予定の学校をお知らせし（第一次ご案内）、夏休み明けてすぐに皆様のご参会のご予定をお伺いいたしました（第二次ご案内）。



当日は、夏休み明けであるにもかかわらずまだまだ蒸し暑さの残る午後ではありましたが、60名近くの皆様にご参会いただきました。今年は南棟2階の図書室をメインの会場にし、一部で廊下続きの普通教室をもお借りした形で開催いたしました。図書室、普通教室ともに空調設備が整っており、ご参会の皆様には快適にお過ごしいただけました。

【今年度お招きして、お話をうかがった高校】

- 神奈川県立上矢部高等学校（普通科・美術科）
- 神奈川県立商工高等学校（総合ビジネス科・総合技術科）
- 横浜市立みなと総合高等学校（単位制／総合学科）
- 東海大学付属相模高等学校（共学／普通科）
- 白鵬女子高等学校（女子／普通科）
- 横浜隼人高等学校（共学／普通科・国際語科）



13時30分より全体会（第1部）として、各高校より順にお話をいただきました。公立高校の先生方からは各校の特長に加え、全日制・定時制・通信制の違いについて、学年制と単位制の違い、また、普通科と専門学科、総合学科についても触れてお話をいただきました。



でした。

14時45分頃からは分散会（第2部）として、学校ごとのブースを設け、ご参会の皆様にご覧いただき、6校すべての高校のブースを順に回っていただきました。私立高校のブースでは、推薦・専願・併願などの具体的な説明をはじめ、制服、通学の実際から留学にいたるまで、様々な話題があがりました。

今回の学習会に向け、夏休み前からご準備に当たられたPTA学年学級委員の皆様、大変お疲れ様でした。
（3年学年主任 山下 淳）

小中授業研究会

左近山中学校区では、授業参観・授業研究会を左近山小学校、左近山中学校のそれぞれの学校で年1回行い、お互いの教職員が授業場面等を見合ってきました。左近山中学校では、9月25日月曜日に実施しました。

横浜市では、平成24年度から「横浜型小中一貫教育」を全面的にスタートさせています。

「横浜型小中一貫教育」とは、敷地や校舎を共有するなどの物理的な条件に関係なく、小中学校の教職員が情報交換や連携をして、義務教育9年間の連続性を図った教育活動を推進することです。一人ひとりの教職員が「わかる」「できる」授業展開を工夫して、生徒の学力がより一層向上することを目指しています。また義務教育9年間で円滑に接続させることで、小中学校間のいわゆる中1ギャップから生じる不登校問題等の今日的な児童生徒指導上の課題解決も目指しています。



授業参観は6校時に行われました。すべての学年・学級の授業を公開して、左近山小学校の教職員に各教室を自由に参観していただきました。生徒一人ひとりが授業に参加する気持ちを持ち、授業内容が理解できるような授業展開を小中一貫授業参観で見合うことができました。

その後、小中授業研究会が行われました。過去数年にわたって両校で推進されてきた『左近山小学校と左近山中学校学力向上アクションプラン』が効果を上げてきたのかを、横浜市学習状況調査の経年データから検証するとともに、学力向上の底上げに効果的だった取組を小中学校相互に確認をしました。

(小中一貫教育担当 野島 正昭)

一斉メール配信について



先日、9月15日付のお手紙でもお知らせしましたように、本校でも保護者向けの「一斉メール配信」の準備が整いました。保護者の皆様には、メールアドレスの登録をお願いしております。登録用QRコードがついたお知らせが見当たらない場合は、担任まで連絡をお願いします。次回のテストメール配信は、10月15日(日)の昼12時30分頃の予定です。今後は、毎月15日にテストメールを配信しますので、受信できたかご確認ください。